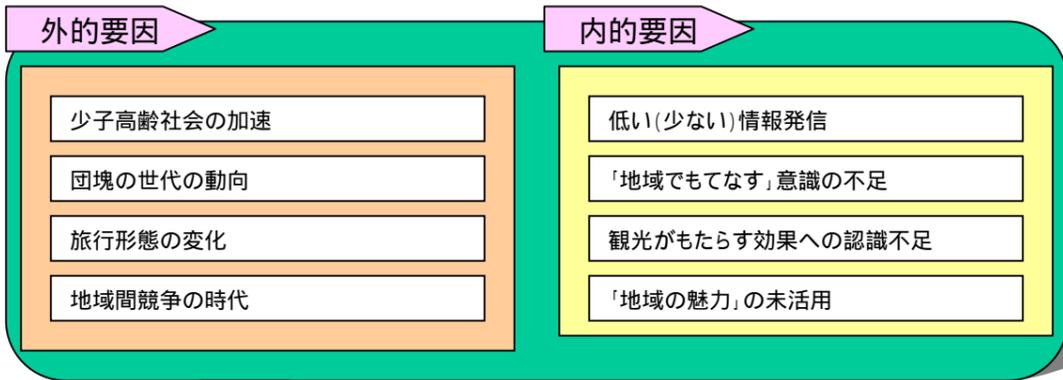


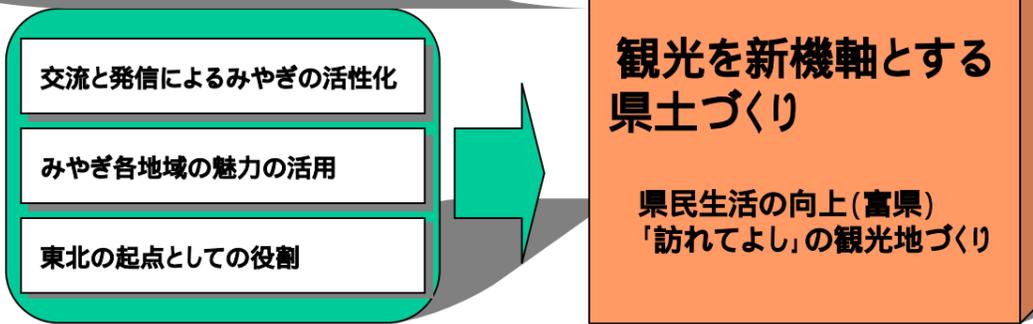
みやぎ観光戦略プラン（概要）

- 「地域が潤う，訪れてよしの観光王国みやぎの実現」を目指して -

本県観光の直面する課題



みやぎの観光に求められる視点



プランの目標

観光客を増加させ、滞在時間を長くすることにより、観光による消費を増やし、経済効果を高めることを数値目標とします。

数値目標	H17年		H22年		実行目標
	数値	千人	数値	千人	
観光客入込数	54,408	千人	60,000	千人	みやぎ観光戦略プランの実効性を高めるため、戦略事業の着手率を実行目標とします。 戦略事業の着手率 8割
宿泊観光客数	7,918	千人	10,000	千人	
観光消費額	5,284	億円	6,000	億円	
経済波及効果	9,132	億円	1兆	円	

計画期間

平成19年度から22年度まで

観光立県行動計画策定以降の新たな要因、例えば、少子高齢社会への対応や「団塊の世代」の大量退職等、今後の観光施策へ影響を及ぼす社会情勢への変化に対応するため、短期間のプランとします。

3つの戦略プロジェクトと18の戦略事業！！

もてなす！

住んでいる地域の魅力を認識し、その良さを伝えることができる人材育成、観光地としての価値向上により「地域全体でもてなす観光地づくり」を進め、みやぎを総合的に磨き上げます。

みやぎのやさしい人づくり

- ・ホスピタリティ向上への取組強化
- ・観光理解啓発
- ・地元食材によるもてなし、観光地美化運動等ホスピタリティをはぐくむ施策展開

みやぎのやさしい観光地づくり

- ・案内板・サインや標識等を重点整備
- ・観光地のユニバーサルデザイン化
- ・二次交通アクセス等観光地間移動の利便性向上

みやぎの地域資源向上

- ・みやぎの観光総点検・広域観光ルート整備の実施
- ・滞在・体験型観光の発掘・整備
- ・観光産業関連事業者等へのサポート

みやぎの魅力創出プロジェクト(9事業)

- みやぎ観光ホスピタリティ向上推進事業
- 外国人観光客安心サポート事業
- みやぎ観光理解啓発事業 (観光教育副読本作成・活用)
- 仙台・宮城DC受入施設整備事業
- 食材王国みやぎ総合推進事業 (みやぎの外食産業支援事業)
- みやぎ滞在・周遊型観光資源発掘事業
- みやぎの景観形成事業
- 自然環境保全対策事業
- みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会活動支援事業

いざなう！

みやぎを訪れる人や旅行エージェント等に対して、海・山・温泉・食・歴史や文化等に関する情報を効果的に発信し、誘客手法の選択と集中によって観光地みやぎに人を呼び込みます。

みやぎのイメージづくり

- ・インターネット等を活用した情報発信

みやぎ誘客ピンポイント対応

- ・関東圏・団塊の世代・東アジアへの誘客強化
- ・「東北・みやぎ」への誘客
- ・県内の地域間交流の促進

イベント・コンベンションの誘致

- ・イベント・コンベンションの誘致

みやぎの情報発信・誘客プロジェクト(6事業)

- 関東圏誘客促進事業
- 首都圏産品販売等拠点施設運営事業
- みやぎおいしい「食」ブランド化戦略推進事業
- みやぎの水産物トップブランド形成事業
- 食材王国みやぎ総合推進事業 (「食材王国みやぎ」フェア開催事業)
- 仙台・宮城DC推進事業

ととのえる！

官民の連携強化や地域力を高める県内組織の充実、東北6県などの広域連携の体系化など観光産業の振興を推進する体制づくりを行い、観光地みやぎの組織体制を整えます。

みやぎの地域力向上組織構築

- ・県組織体制の整備
- ・官民の主体的な地域力向上に関する組織づくりの強化推進・支援

みやぎ東北ぐるっと連携

- ・東北各県の広域連携をテーマや目的別に体系化・再構築
- ・東北各県等広域的な組織づくりを推進

各主体の役割分担

- 各主体がその担い手としての力を十分に発揮

みやぎの連携・組織づくりプロジェクト(3事業)

- 全国大型観光キャンペーン宮城県実施推進本部整備事業 (県組織体制の整備)
- みやぎ大型観光キャンペーン推進組織整備事業 (観光連盟の強化)
- みやぎ発東北観光体制整備事業
- 仙台・宮城DC推進事業 (再掲)

「」印は、計画期間内の新規事業

プランの推進体制

みやぎ観光戦略プランの実効性を高めるため、**みやぎ観光戦略プロジェクトチームを編成**し、戦略事業の実施状況の検証や、広域ルートの商品づくりや観光資源の磨き上げなど地域での取組に継続的に参画して、観光戦略プランの効果を高めていきます。

